

「ドンぐりsカフェ」1年半ぶりに再開

苦境の新聞に期待、権力監視の使命

コロナ感染防止で昨年1月から休止していた「どんぐりsカフェ」が7月24日、1年半ぶりに再開した。講師は元中日新聞編集局長の田島暁さん（石尾台在住）で、「新聞よ がんばれ」と題し、新聞社の内側から見た新聞の歩みや使命を語っていただいた。高齢者のワクチン接種の浸透の効果か、猛暑の中で25人の方が参加した＝写真。

田島さんは編集局長のほか中日春秋執筆者、論説主幹など報道、論説の両部門のトップを歴任した。ご自分の取材などの体験談を交え、新聞の歴史を振り返り「政府の圧力に屈して戦争に協力した戦前の様なことは二度としてはならない。これが新聞の大原則です」と強調。最近

役員会から（7月17日）

●「生き生き楽農会」が、毎年行っている庄内川河川敷清掃を評価され、国交省庄内川河川事務所から感謝状（事務所長賞）が贈呈された、と報告された。昨年はイノシシ被害で痛めつけられるなど散々だったが、久々の朗報に役員会も明るい笑顔に包まれた●今年度の会員数が報告された。正会員が42人、サポート会員9人、賛助会員2法人。正会員の増減はなかったが、高齢化などを理由に5人ほどが退会の意向を示している。若い人を軸に会員増加策を検討することになった●「魅力ある高森山公園をつくる会」が、高森山の植生や生き物に親しみを持ってもらうため、同山のガイドブックを作成している。主な樹木22品種の写真と説明文を載せ、11月27日に予定している「紅葉を見よう会」や山の散策で利用してもらう。



の新聞については「全般に記者会見の質問を聴いても政府への追及が弱い。権力への批判が甘くなっているのではないかと。スクープも週刊誌にやられっぱなしの感じがする」と厳しい評価。

インターネットの普及などで全国の新新聞発行部数は急減しており、ピーク時の1997年と比べ35%も減少。広告収入も激減している。

「新聞社が置かれている状況は大変厳しい。しかし、国民の立場に立ち権力を監視するという新聞社の使命を代行できる組織はない。新聞社には訓練された取材記者や取材網、自立した経営がある。新聞は、これからも苦境を乗り切り、弱者に寄り添い、権力の誤りを批判する使命を貫いて欲しい」と新聞への熱い期待で締めくくった。
(明賀 雄二)

次回「カフェ」は8月21日

次回の「どんぐりsカフェ」は森林インストラクター・眞弓浩二さんを講師に、「楽しさいっぱい里山づくり」と題し、高森山の森づくりの基礎知識や実践例などを話していただきます。

日時 8月21日（土）午後1時半～同4時。

会場 東部ほっとステーション

（サンマルシェ南館1階）

会費 200円（資料代）

庄内川清掃で国交省河川事務所 楽農会に感謝状

このたび「生き生き楽農会」は、長年に亘る庄内川河川敷清掃の功績が認められ、国交省庄内川河川事務所より、感謝状（事務所長賞）が贈呈されました。楽農会発足時よりの目的である地域の環境保全活動の一環として、耕作地の周辺だけでなく、すぐ横を流れる庄内川（河口から38km地点）の清掃に取り組んできました。増水で流れ着いた粗大ゴミや河原でのバーベキューの残滓等を毎年定期的に回収し、可燃不燃合わせて20袋以上にもなります＝写真。

そのため、5年前に管轄の名古屋北区の庄内川河川事務所と合意書（アダプト制度＝養子縁



組）を結び、禁止事項の看板設置や会の宣伝等を行なっていただいています。アダプト制度に加入ボランティアは約30団体もあり、各流域地点での環境美化活動により、河口までの庄内川の水質や景観が保たれ、市の環境部署の「水の生きものガサガサ調べ」等子供達の野外学習等に利用されています。畑作業の合間に夕日にきらめく川面を見ると疲れが癒やされます。これからも環境保全に努めていきますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。（堀内 泰）

私の朝・昼・晩

「社会主義」復権の兆し？

「アカにするためにお前を大学に入れたんじゃない」。生意気盛りの大学1年生の時、話の途中で父親に怒鳴られた。時は移り、大学生の息子に「本来の社会主義はソ連のような強権政治とは真逆だ」と説いたら軽く鼻で笑われ、ムカついた。私はマルキストではないが、資本主義の対抗軸としての社会主義の凋落はショックだった。

だが最近、風向きが少し変わってきたようだ。「人新世の『資本論』」（斎藤幸平著）という本が評判になっている。「人類の生存を脅かす気候変動の元凶は、無限の生産・利潤拡大が宿命の資本主義であり、資本主義を止めなければ人類の歴史が終わりを迎える」と明快だ。資本主義に代わるべきものは晩年のマルクスが到達した、平等で自由な市民がコモン（水道・医療・教育など生活に欠かせない公共財）を共同管理する「脱成長コミュニティズム」だと主張する。

賛否は無論あるだろうが、若者層の貧困、格差の急拡大など、「現在の経済システムには、重大な欠陥があるようだ」と考える若者が増えているのは確かだ。（明賀 雄二）

グルッポパークフェスタに出店へ

「グルッポふじとう」で9月4日に開かれる「グルッポパークフェスタ」に「どんぐりs」が出店することが、このほど決まった。「高蔵寺まちづくり（株）」主催で、子供たちが自由に遊べる「芝生広場」のオープンを祝って開催。ダンスやピアノ演奏などもある。出店では写真やパネルで本会の活動をPRするほか、小物販売を予定している。

すまい困りごと無料相談

- 電話または直接面接会場にお越しください
☎080-5297-8956（長谷川）
面接相談会日時；8月8日（日）、9月18日（土）
（ともに13：30～16：00）
会場；東部ほっとステーション
（サンマルシェ南館1階）

ハート・ほっと・ルーム

- 日時；8月22日（日）、9月26日（日）
（ともに13：30～17：00）
会場；東部ほっとステーション
参加費；無料
連絡先；☎090-6330-4393（浪川）